やまなみ



御船町立御船中学校 学校便り

令和2年 10月号

校創建造奏

実りある学習のために

校長 作田 潤一

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて、学習成果発表会(合唱コンクール)は生徒と教職員のみの実施となりましたが、生徒たちは練習の成果を精一杯に発揮して、緊張感溢れる中に素晴らしいハーモニーを響かせてくれました。

さて、以前読んだ本の中に、こんな一節がありま した。『実りのある学習のために何より必要とされ るのは、学習者が自分自身を甘やかす安易な気持ち を持たないように気を付けることでしょう。・・・ もちろん、学習者にはリラックスも必要でしょう。 しかし、はじめからリラックスばかり、開放感ばか りでは、自分自身の弱い気持ちに鞭打って学習を続 けるような強靭さは育ちようがないのです。「頑張 れ!」と言わないようにしよう、ということが言わ れた時期がありますが、時には外部からの叱咤激励 によって、自分自身のひるみがちな心に自分でカツ を入れ、気持ちを新たにまた学習に取り組んでいく、 ということが必要な場合があるのです。・・・学習 者が課題に取り組むように促し、励まして動機付け することこそ、親や教師の大切な務めではないでし ょうか.』(「和魂に学ぶ」ということ【甘やかしの 弊害】前兵庫教育大学学長 梶田叡一)

なぜ、この一節を紹介したかと言いますと、合唱コンクールまでに、練習が思うように進まなかったり、集中が持続しなかったりする等、生徒たちの中にはひるみがちな心が芽生えた時もあったと思いますが、学級担任や学年部の先生、保護者の叱咤激励によって、素晴らしい歌声・演奏にたどり着き、自らの成長を実感できたと考えるからです。

生意気なことを言うようになっても、まだ子ども。 安易な考えや後ろ向きの気持ちに流されそうになっ た時、叱り、励まし、頑張りへの動機付けができる 親や教師でありたいと思います。

私が子どもの頃、母から、「宮部鼎蔵は、上野から熊本城下まで歩いて往復して、・・・」と先哲の生き方を例に論されていたことを思い出します。

く歌声高らかに~学習成果発表会~>

10月18日(日)に学習成果発表会を開催しました。今年度のテーマは「天歌夢奏〜全ての瞬間に感謝し、心を揺らす歌声を届けよう〜」。生徒会のオープニングに始まり、2年生寺田君の少年の主張、そして合唱コンクールと続きました。

合唱コンクールでは、熱演が繰り広げられました。 初めてながらも懸命に歌う1年生、歌詞の意味まめる えて歌う2年生、そして情感豊かに思いを歌に込める 3年生。どの学年、どの学級も必死に歌う姿は、聴いる人の心を強く打ちました。」、「コロナ対策で 制限がある中、ここまでやるには相当な努力が必要だったと思います。」とお褒めの言葉をいただきました。 本当にその通りだと思います。

金、銀、銅という賞こそつきましたが、どの学級も素晴らしく、これまでの過程を見つめ、次へとつなげてほしいと思います。

また、今回の入場制限にご理解いただいた保護者の 皆様、地域の皆様、ありがとうございました。無事に 開催できましたこと、感謝いたします。

○合唱コンクール金賞

1年1組、1年4組、2年3組、3年1組(最優秀)

○指揮者賞

1年4組 竹下鷲君、2年4組 照沼蒼大君 3年1組 清田光月君(最優秀)

○伴奏者賞

1年4組 荒木佳凛さん、2年1組 松本紗和さん 3年1組 甲斐都和乃さん(最優秀)

3年2組 福岡友望さん、3年3組 井手優菜さん



く心も耕しています!道徳授業の充実>



日本人で初めてロケ 意見を交換する1年2組のみなさん

ット作りに成功した植松努さんの生き方に触れ、自 分の経験をもあわせながら、あきらめない気持ちを 持つことの大切さやその意味を考えていました。授 業の最後では、今後の生活で何事も諦めずに取り組 みたいという生徒の感想がいくつも聞かれました。

御船中学校では、職員の研修でも道徳に力を入れています。生徒の心に響く道徳の授業作りができるよう、これからも研究していきます。

〈女子は県大会へ!郡中体連駅伝大会〉



駅伝メンバーのみなさん

ありがとうございました。女子は県大会出場です。

く 今後の主な行事予定 >

11/2(月),4(水) : 3年生共通テスト 11/9(月)~11/11(水) : 3年生期末テスト

11/18(水)~ 11/20(金): 1、2年生期末テスト

11/26(木): 生徒会立会演説会、投票 11/30(月)~ 12/8(火): 3年生三者面談

